

Dance Drill All Japan Competition 2019

WEST

Japan Dance Drill Championship

実施要項

- 1. 大会名称** Japan Dance Drill Championship / 全日本ダンスドリル選手権大会
- 2. 期 日** 2019年11月17日(日)
実施部門: JAZZ, HIP HOP, POM, Dance Drill
- 3. 会 場** 東和薬品RACTABドーム(旧なみはやドーム) 大阪府門真市三ツ島3-7-16
- 4. 主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル3F
TEL: 03(3556)6080 FAX: 03(3556)6139
HP: <http://www.dancedrilljapan.com/>
- 5. 大会参加費** 団体一部門毎、参加者一名につき3,500円。補欠も一名につき3,500円。
1エントリーにつき4名以上(3名以下でのエントリー不可)
- 6. 《エントリーについて》**
 - ★ 複数部門へのエントリー
エントリー後の増員、メンバー変更は認めない。
一名につき団体二部門までエントリー可。
複数部門出る場合は、重複関係がわかるようエントリーシートに記載すること。
 - ★ エントリー受付
エントリー総数に制限があります。エントリー申込は先着順となります。
(予定エントリー総数はWEBにてご確認ください)
団体情報登録シート及び、エントリーシートの受付をもってエントリーとします。
エントリー期間前の応募、また期間内であっても書類に不備があった場合エントリー受付致しません。
 - ★ エントリー方法
* ホームページからエントリーシートを取得し、入力の上、下記メールアドレスへ送信して下さい。
E-Mail送付先: west@dancedrilljapan.com
 - ★ エントリー期間
2019年10月9日(水)12時より10月15日(火)12時まで(厳守)
上記締切前でもエントリー上限に達した時点でエントリーを締切ます。
 - ★ エントリーの注意事項
 - * エントリーシートに記入漏れ、不備があった場合は無効とします。
 - * エントリーの際メールの送信は1エントリーにつき1通のみとし、複数人による同時申込は受付できません。
 - * エントリー応募の後、こちらから確認メールを返信します。順次確認メールを送信しますので、電話でのお問い合わせ・受付前の入金を行わないで下さい。
 - * エントリー定員に達した際は、予告なく申し込みを締め切らせて頂く場合があります。
 - * メール本文に団体名と担当者名を入れ、エントリーシートに不備がないかを確認の上メールを送信して下さい。
 - ★ 参加費振込みについて
 - * 参加費はエントリー受理のメールが到着後3日以内に、下記銀行口座に振込んで下さい。
入金確認をもって正式エントリーとします。
 - * **振込み人の名前は、エントリーした団体名と確認メール記載の申込番号を入れて振り込んで下さい。**
 - * 振込み後の大会参加費は返還致しません。

振込先

三菱東京UFJ銀行 麹町支店 普通預金 口座0108687 口座名義 ミスダンスドリルチーム

7. 出場資格及び実施部門

学校団体、クラブチーム、ダンススタジオ、学外クラブ、地域クラブ、カルチャースクール等
学校団体以外(学校名での出場不可、チーム名での出場は可)の全ての団体

編成	出場資格	実施部門			
		JAZZ	HIP HOP	POM	Dance Drill
Mini	出場選手全員が 小学校4年生以下	○	○	○	○
Youth	出場選手全員が 小学校6年生以下	○	○	○	○
Junior	出場選手全員が 中学生以下	○	○	○	○
Senior	出場選手全員が 高校生以下	○	○	○	○
Open	年齢による出場 制限なし	○	○	○	○

※出場編成は年長者の出場選手に合わせること

※参加数が多い部門は人数によりSmall編成、Large編成に分ける場合がある。

8. 演技時間

2分15秒以内※下限無し。

9. 表彰について

★〈部門賞〉

各部門1位から3位を表彰する。

★〈総合〉

全部門を通じて最高得点団体をグランドプライズ(1位)として表彰する。

10. 演技フロア

- (1) 演技フロアはおおよそ12m×12m。Dance Drill 部門のみ縦15m×横28mとする。
会場の状況によって演技フロアのサイズを変更する場合がある。
- (2) 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- (3) 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- (4) 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等、床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。
また演技に使用するバトン、プロップ等にはゴム等を装着するなど床に傷を付けない工夫をすること。

11. 音源について

本番用音源CD・予備用音源は当日持参。

- 音楽CD形式
- 編曲されている場合でも1曲として編集すること。
- 盤面、ケースへチーム名、出場部門、エントリーNo.を記載すること。
別紙「大会使用音楽届け出書」に必要事項を入力の上、エントリーと同様のメールアドレスまで提出してください。
各種手続きの簡略化の為に、メール添付での提出にご協力ください。

出場に関する留意事項

日本語以外の歌詞の楽曲を使用する場合は、その歌詞に不適切な言葉がないか、必ず確認をすること。
特にHIP HOPの楽曲には注意すること。

12. 審査

(1) POM部門,JAZZ部門,HIPHOP部門

※Dance Drill部門以外は、ICU準拠のルールにより行います。

下記URLをご参照ください。

セーフティガイドラインは下記URLを参照すること。

国際チア連盟(ICU)および日本スポーツチア&ダンス連盟(Cheer Japan)により規定されたルールによって行います。

詳細は下記CheerJapan主催JapanOpen大会ページよりPERFORMANCE CHEER (DANCE)項目のルールブックをご参照ください。

<http://www.jfscheer.org/competition/japanopen.html>

(2) Dance Drill部門

セーフティガイドライン(Dance Drill部門のみ)

本協会では、安全に競技を行うために、下記のセーフティガイドラインを設定する。

A. ピアス、イヤリングは禁止。

B. ポンポンやブロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンプリングは禁止(ストールなどを含む)。(例外:前転・後転は認められる) 体重をかける技は何も持っていない状態の手で演技フロアに接していること。

全体重を他のメンバーにかける場合も、手に何も持っていない状態で行うこと。

※リフトの上に乗るメンバーが土台のメンバーに全体重をかけてから上に乗る場合も素手で行うこと。

C. 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。

(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)

人の上に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。(肩、背中、手、膝など)

人の上から飛び降りるのは禁止。

但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能(リフトとみなす)

※トータッチジャンプをするメンバーの腰を土台のメンバーが支えて実施するのは可能。

D. その他、審判員が危険とみなした行為。

(3) 審査のポイント

	テクニックの実施		グループでの実施	振付	全体の印象
	30点		30点	30点	10点
POM	●カテゴリースタイルの実施 POMモーションテクニックの質:正しい形、コントロール、正確さ、強さ、完成度。	●動きの実施 強さ、迫力、正しい形、コントロール、存在感を伴った動きの実施	●同調性/音楽とのタイミング チームメンバーの同調性。音楽との同調性	●音楽性 音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルをいかしたクリエイティブでオリジナリティのある動き	●観客とのコミュニケーション ●計画性
HIPHOP	●カテゴリースタイルの実施 本物のヒップホップ/ストリートダンススタイルの質。グルーヴ感	●テクニカルスキルの実施 正しい位置、身体のライン、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、完成度を伴った適切なスキルレベルの実施	●動きの均一性 全員の動きの均一性(クリーン、クリアー、正確)	●フロアへの使用/視覚的効果 スムーズな移動と様々なフォーメーションの利用。グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト、高さの変化、などを使用した視覚的インパクトのあるステージング。	●観客へのアピール ●音楽・衣装・振付・メイクがダンサーの年齢に適正か
JAZZ	●カテゴリースタイルの実施 動きの連続性。スタイル実施の質、引き上げ、押し出し/身のこなし。		●位置間隔 パフォーマンスエリアにおける、ルーティーン時、移動中における選手間の間隔の均一性	●動きの複雑性 テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さなどの動きの難度。正しいテクニカルの実施に基づくスキルの難度。	
Dance Drill	●カテゴリースタイルの実施 Dance Drillのスタイル(ブロップ・ミリタリー・メジャーレット・ショートフラッグ・ノベルティなどの正確な実施				

13. ペナルティ(全部門共通)

- (1) エントリー資格を有さない者が出場した場合。(失格)
- (2) エントリーした選手以外、または多い人数が出場した場合。(失格)
- (3) 演技時間の超過があった場合は以下の通り結果より減点する。
(5～10秒超過は1点減点、11秒以上超過は3点減点)
- (4) 10項(3)の内容が守られなかった場合、ポイントでのペナルティが課せられることはないが、悪質な違反と見なされた場合には、失格となることがある。
- (5) 演技フロア保護の為の処置がされていなかった場合(失格および修繕の為の実費請求)
- (6) (Dance Drill部門のみ) 上記のセーフティガイドラインが定める禁止事項一人一回の実施につき結果より**5点減点**する。